

広報 鳥海の里

題字

白光支援課 小野麗子さん

第155号 平成30年6月1日

発行 秋田県心身障害者
コロニー保護者会

保護者会事務局

TEL (0184) 32-1082 FAX (0184) 32-1083

秋田県心身障害者コロニー

秋田県由利本荘市西目町出戸字孫七山3の2

TEL (0184) 33-2255 FAX (0184) 33-2044

ホームページアドレス <http://www.fukinoto.or.jp/colony> E-mail colony@fukinoto.or.jp



主な内容

- * コロニー管理者・支援部長あいさつ……………2
- * 平成30年度定期人事異動……………3
- * 定期総会・苦情解決処理状況……………4
- * 行事スナップギャラリー……………5
- * コロニー祭のご案内・あじさい棟の紹介・利用者の動き 他…6

新 年 度

の 挨 捶

秋田県心身障害者コロニー

管理者 小澤久範



秋田県心身障害者コロニー

支援部長 近藤薰

薰



日頃より、運営に対する皆様からの御理解、御協力を戴いておりますことを感謝申し上げます。お陰様で昨年度の運営に関しましても大きな問題もなく、滞りなく実施出来ましたことを紙面を借りて、御報告申しあげます。

コロニーでは、利用者さんの現状にマッチした支援の提供を実践すると同時に、将来のコロニーのあるべき姿を見据えた支援を展開して行ければと試行錯誤を繰り返しております。試行錯誤の先にある正解は利用者さんの笑顔です。時代と共に福祉の世界も変わつて来ておりますが、時代は変化しても福祉の正解は利用者さんの笑顔ということに変わりはありません。利用者さんが笑顔になつていただくために、支援の現場は利用者さん個々のニーズに合わせた支援を提供するために努力をします。そのひとつひとつの努力が将来のコロニーを形作つて行くわけで、将来のコロニーがどれだけ正解に近づいているのかの評価は将来のコロニーを支えている支援員に委ねたいと思います。将来の支援員に笑われないよう現在のコロニーを支えている支援員と意見を出し合いながら、ひとつずつチームとして同じ方向を見ることにより、最大限の力を引き出して行けたらと考えております。

次に、私は何人の方を見送った経験がありますが、死を目前にしながらもそれを自然に受け入れ、一生懸命に生きる姿を目の当たりにして、人としてどう生きるべきなのかを考えさせられました。

それから、現在「障害者虐待防止法」や「障害者差別解消法」等、障がい者を取り巻く環境を整えるための法律があります。法律等で守ることは勿論ですが、障がいのあるなしに関わらず、全ての人が差別や偏見なく平等にかつ平和に生きる社会の実現が望まれます。

コロニーも、あと三年で半世紀という節目である五十歳の誕生日を迎えます。今までコロニーに関わつて戴いた数多くの皆様に感謝すると同時に、今後もコロニーに対する御支援をお願い致しまして御挨拶とさせていただきます。

平成30年度 職員定期人事異動のお知らせ

(平成30年4月1日付)

定期総会を開催しました

去る四月二十一日、平成三十年度定期総会が開催されました。

今年度は、初めての試みとして大広間に椅子席を設けました。「年々、正座するのがつらくなつてきた」という保護者の皆さんには大変好評でしたので、来年度以降も継続していきたいと思つております。

始めに、十八年間役員を務められた前会長の菅原幸一さんに表彰状を贈呈いたしました。

次の議案審議におきましては、議案第一号から第六号までの「平成二十九年度事業報告及び収支決算について・会則の一部改正案について、平成三十年度事業計画並びに收支予算案について」全て満場一致でご承認いただきました。

議事終了後、現在各支援課で利用している公衆電話が撤去される事について、今後も公衆電話に代わる電話は必要か、それとも、この機会に完全撤去したほうが良いかという案件について話し合いをしました。会員の皆様から事前にハガキで頂いたご意見と、総会出

席者の総意を伺ったところ、「公衆電話は必要」という結論に至りました。利用者の方々が、いつでも家族と気兼ねなく話ができる事、また、それを楽しみとし安定した生活を送っている事などを考慮し、どのような方法で電話を設置するのが良いか改めて役員会で協議することといたしました。

総会終了後には、各支援課において施設職員との懇談会を実施し日程を終了いたしました。



平成29年度 苦情解決処理状況について(ご報告)

【平成29年度 苦情解決処理状況報告書】

結果区分 内容の分類	受付件数	苦情解決結果				
		①相談助言	②紹介伝達	③通知	④その他	⑤継続中
(1) サービス内容(職員の接遇)	1	1	0	0	0	0
(2) サービス内容(サービスの質・量)	0	0	0	0	0	0
(3) 説明・情報提供	0	0	0	0	0	0
(4) 施設・設備	0	0	0	0	0	0
(5) 制度・施策	0	0	0	0	0	0
(6) 金銭	0	0	0	0	0	0
(7) 被害・損害	1	1	0	0	0	0
(8) 権利侵害	※1	※1	0	0	0	0
(9) その他	0	0	0	0	0	0
(ア) 個人の嗜好・選択	0	0	0	0	0	0
(イ) 個人の希望・要望	0	0	0	0	0	0
(ウ) 他利用者とのトラブル	0	0	0	0	0	0
(エ) (ア)～(ウ)に該当しないもの	0	0	0	0	0	0
合計	2件	2件	0件	0件	0件	0件

平成29年度の苦情受付件数は2件で、内容としては、「職員の接遇」(「権利侵害」と重複)について1件、「被害・損害」が1件でした。

受付された苦情については、事実確認をした上で、各部署において適切な処理がされております。

各課・各部署においては、自治会や心配ごとの相談日を設ける等して、利用者様の声が反映しやすい環境づくりに努めております。

※他の項目と重複あり

思い出いっぱい

行事スナップ

やっぱり乙女だね!満面の笑顔



赤光・人形劇

人形劇団クスクスの皆さん



超神ネイガー
参った!



おしらせ

コロニー園芸科は

日曜日が定休日となり
ました。

月曜日～土曜日はこれまで
通り営業いたします。

あじさい棟紹介



あじさい棟では、これまで地域で生活する障がいをお持ちの方に対し、生活介護や日中一時支援のサービスを提供してきました。

この4月からはこれまでのサービスに加え、新たにコミュニケーションや感情、衝動のコントロールが苦手だったり、興味や関心が限られ強い執着を示す方など、専門的な支援が必要な方へのサービスを提供しています。

1日の活動に見通しを持ち、課題や作業に集中できる環境を整えるとともに、スヌーズルーム(リラックスできる部屋)の活用や散歩・運動などの活動も取り入れた支援を行っています。

その人の強みや特性、周囲の環境をしっかりと把握し行動の原因を探り、その人に合った支援を提供することで、将来的には自宅やグループホーム、施設のなかでも安心して生活できるよう、職員一同強い思いと笑顔で頑張っていきたいと思います。

◆利用者の動き

(二月~五月)

◆ 善意ありがとうございます

お悔やみ（十二月～三月）

創生支援課 今田 克美さん（五十九歳）
銀杏支援課 佐藤 正さん（五十五歳）

銀杏支援課 佐藤秀一さん（六十七歳）
銀杏支援課 菊地薰さん（六十七歳）

銀杏支援課
赤光支援課
名古屋範子さん（五十一歳）
嵯峨庄太郎さん（八十二歳）

赤光支援課 照井 弘子さん（七十八歳）
開成支援課 福田 君雄さん（七十九歳）

◇保護者
創生支援課 佐藤 タマさんの保護者

創生支援課 鎌田 英樹さんの保護者 金悦さん

銀杏支援課 千葉恵子さん
太田富美子さんの母

白光支援課 大場 稔さんの母 ミネミさん

白光支援課 新堀恵美子さんの母

謹んでご冥福をお祈りいたします

〔お詫びと訂正〕

第一四五号 お悔やみ欄
（誤）金子勇さんの保護者 徹雄さん
（正）金子勇さんの保護者 鉄雄さん
謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

◇利用者	
創生支援課	今田 克美さん（五十九歳）
銀杏支援課	佐藤 正さん（五十五歳）
銀杏支援課	佐藤 秀一さん（六十七歳）
銀杏支援課	菊地 薫さん（六十七歳）
銀杏支援課	名古屋範子さん（五十一歳）
赤光支援課	嵯峨庄太郎さん（八十二歳）
赤光支援課	照井 弘子さん（七十八歳）
開成支援課	福田 君雄さん（七十九歳）
◇保護者	
創生支援課	佐藤 タマさんの保護者
創生支援課	金悦さん
白光支援課	鎌田 英樹さんの保護者
白光支援課	千葉恵子さん
白光支援課	太田富美子さんの母 ミネヨさん
新堀恵美子さんの母 京さん	キヨさん

白光支援課	佐藤 �利光さん
藤本 幸栄さん	創生支援課へ
白光支援課	大山 洋子さん
白光支援課	赤光支援課へ
原田千恵子さん	創生支援課へ
赤光支援課へ	高橋 久さん
伊藤八重治さん	銀杏支援課へ
創生支援課へ	伊藤八重治さん
開成支援課	高橋 久さん
開成支援課	伊藤八重治さん
開成支援課	高橋 久さん
赤光支援課へ	伊藤八重治さん
赤光支援課へ	伊藤八重治さん